

福井県立病院整備事業病院本棟建設工事

受賞機関 福井県立病院建設室

はじめに

福井県立病院は、21世紀を展望した心身両面にわたる総合的かつ高度な医療を提供するため、既存病院の機能を維持しながら建替事業を実施しており、第1期工事の病院本棟が平成15年度末に完成した。

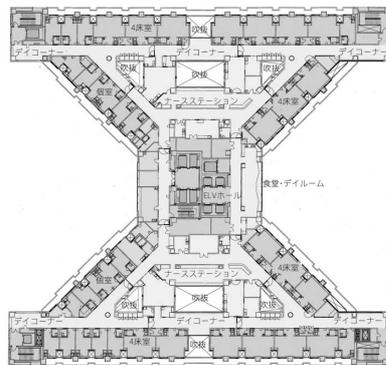


施設の概要

- 構造規模：SRC造地上13階地下2階(免震構造)
- 建築面積：7,705m²
- 延べ床面積：64,384m²
- 病床数：679床(一般665、感染症4、結核10)

事業の特徴

この建物は、低層部の診療部門が正方形、上層部病棟がX字形、中心にエレベータを配置し短い動線で働きやすく、来院者にわかりやすいシンプルな平面としている。4床病室に凸型の平面形状を採用し、廊下側のベッドからも外を眺めることができる専用の窓を設けて、個室的な療養環境を実現している。さらに、各室にトイレを、各階に白山を望



病棟階の平面

む眺望のよい食堂スペースや複数の談話スペースを配置して早期離床が促されるよう工夫している。

構造的に積層ゴムアイソレーターによる免震構造を採用し、地震時の医療機能を健全に確保するとともに、屋上ヘリポートの設置により緊急時の受入体制を整備している。

地球環境への配慮からバルコニーによる日射コントロールや緑化による輻射熱の低減などの工夫とともに、コジェネレーションシステムによる排熱利用や中央監視による効率的な運転などにより、使用エネルギーの削減を図っている。

ユニバーサルデザインを強く意識した設計を行い、事前に車椅子の会などの各障害者団体に計画内容を説明し意見を取り入れるとともに、モデル病室を製作して、病院関係者や患者の方々の空間体験を参考に仕様や仕上げ等の検討を行い、さらに完成時には、一般県民のモニター見学会を実施して、ベビーシートを増設するなどの改善を加え、できる限り多くの意見を取り入れ使いやすさを追求した整備としている。おわりに

昨年は、福井豪雨や原発事故などで緊急施設が活用される場面も多く、また、雑誌でも快適な病院ランキングに取り上げられるなど、今後の地域中核医療の拠点として県民の期待と信頼に応える施設となっている。

賛助会員 住友金属工業㈱、大成建設㈱、フクモク工業㈱



エントランスホール